



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 23 年 11 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



9 月議会の内容

港町宇出津灯りフェスティバル
撮影日：平成 23 年 9 月 25 日（日）

●一般質問 P 2 - 5 ●議案質疑 P 6 ●委員会報告 P 7 ・ P 8

平成 23 年第 3 回能登町議会定例会は、9 月 6 日から 15 日までの 10 日間の日程で開催されました。

6 日には、議案 15 件、諮問 2 件、認定 14 件、陳情 1 件が上程されました。人事案件 2 件が先議され適任とされました。議案質疑の後、各常任委員会へ付託されました。続いて、決算特別委員会が設置され、認定 14 件が付託されました。12 日には町政一般質問、15 日には採決が行われ、議案 15 件は原案のとおり可決され、陳情 1 件は採択とされました。続いて、議会議員定数等検討特別委員会委員長より調査の経過と結果が報告（詳細は P 8 参照）されました。続いて、発委 1 件が可決され、認定 14 件については、継続審査となりました。

第26号

いっばん質問

問 町の防災力の現状と今後の取組

近年、大きな災害が頻繁に起きている。自主防災組織の育成に予算があるが、目指すところは。

防災士の育成が急務だが、その育成の方法は。10月16日の防災訓練の内容と職員の非常招集の手段は。

町内の住宅の耐震化の現状は。また、町内に活断層はあるのか。

答 地域自主防災組織を早期に立ち上げたい

総務課長 基本的には町内会単位の組織で助成したい。内容は防災、避難訓練等に必要な備品、応急用具、夜間の照明器具、避難所に初期対応の調理器具、備蓄品の倉庫、医療品セット保存水等の購入を対象としている。啓発用のパンフレット、自主防災に係る講演会の講師の経費等にも助成したい。

防災士の育成は1人あ

たり5〜6万円必要だが、県の補助事業が打ち切りとなってもこの事業で対応したい。

防災訓練は、震度6強の地震・津波が発生したとの想定で、宇出津新港を会場に能登高校のJRC地域支援隊も含め31団体の参加で病院関係、電気水道ライフラインの復旧ほか22項目に渡り訓練する。

非常時の職員の招集については、消防署の管理職に対しての「こだま」という一斉指令で対応している。

耐震建築助成実績は現在1件。周知に努めたい。断層については、直接地震を誘発するものかどうかについて専門的な知識がないので言及出来ない。備蓄品は子供医療品は子供医療セット、粉ミルクを補充する。



市濱等 議員

問 国・県・町道の今後の取組

現在進行中の道路の各事業の進捗状況は。能登半島内海岸線に高規格路線は考えられないか。

答 道路整備は防災も念頭において整備

町長 7路線を国県へ要望中で、5路線が整備中である。珠洲道路も高規格の候補路線だが、海岸線の防災の観点から協議・要望する。



家庭でも防災会議



國盛孝昭 議員

問 町長の政治信条と人材育成

「政治家持本一茂」として政治をどのように捉えているか。

人材の過疎にならないために人材の育成を。

答 能登町に住んで良かったと思える町に

町長 町のためになるか、町民の皆さんが幸せと思ってもらえるか、能登町に住んで良かったと言ってもらえるような町づくりをすることが私の政治信条である。

また、人材育成については、合併時はそれぞれの役場職員としてのやり方の違いがあったが、今は、一体化されてきた部分もあると思っている。地域の特性を活かした町

【人事評価制度とは】

採用年次等を過度に重視した任用や年功的・画一的な人事管理ではなく、職員個々の能力や実績等を的確に把握して適材適所の人事配置やメリハリのある給与処遇を実現し、業務遂行意欲を向上させ、公務能率の増進を図っていくことを目的とする制度。

づくりが必要で、本年度から人事評価制度も導入し、職員の能力を最大限に引出すための評価と町の組織の在り方を検討し、町民のための人事管理の在り方も踏まえ、職員の資質向上と意識改革に努める。



志幸松栄 議員

問 職員採用試験

職員採用試験の手順・流れ、その試験の透明性と情報公開について。

また、その面接試験について、面接官は何名で氏名と採点方法は。

答 職員採用試験の透明性を高めるよう努力する

町長 本町の職員採用規程に基づき職員採用試験委員会を設置、採用試験を実施し、その選考結果を町長に提出する流れとなっている。面接試験については、職員採用試験委員4名で、主として常識及び教養について面接試験を行う。その採点方法は、理解力・判断力・

表現力など6つの評定項目で評価している。今後とも職員採用試験の公平・公正化を推進して、情報の公開など透明性を高めるように努めていきたい。

問 志賀原発

志賀原発の安全性と津波対策及び志賀原発事故発生時における町の防災対策は。

答 県と協議し防災体制を強化

町長 津波対策について、北陸電力からの報告では、防潮堤の構築・非常用電源確保・消火系ライン・消防車の配備などの対策を実施すると聞いている。志賀原発事故発生時の町の防災体制については、万一の事故発生時には能登半島の交通網の寸断も想定されるので、避難の際は、町民全員の避難というケースも想定される。町単独での防災体制では

難しい部分もあり、県と十分な協議をしながら防災体制を強化していく。

問 町の高齢化の問題

町としてどのような高齢者対策をとっているのか。また、この現状についてさらに対策を強化していくつもりはないか。

答 高齢者の自主的な活動を支援

町長 町の高齢者対策は、介護予防の相談、講演会、教室、栄養指導、配食サービス、軽度生活援助、生きがいデイサービス事業などを実施し、サービスの提供に努めている。町内の高齢者の内17%の方が介護保険等を利用しているが、今後の対策として、生きがいを持ち、また、社会活動を通じた活力に満ちた社会づくりの推進や高齢者が高齢者を支え合う社会づくりに取組んでいきたい。

問 自治体独自の防災行政



河田信彰 議員

東日本大震災、原発問題も含め自治体独自の防災に対する意識が必要と感じたが、どのように防災行政を進めていくのか。

答 サイレンなど津波独自のものも協議し防災対策の強化

町長 防災行政の重要性を再認識し、津波対策を今後の重要な防災課題として取組む。そして、防災体制を強化、防災対策の推進、各種基準の見直しを進めていく。また、石川県では津波の浸水想定調査を行っている。避難場所の検討作業も進め、津波等に対する防災対策をとってきたいと考えている。



東日本大震災の被害状況



東日本大震災の被害状況



鶴野幸一郎 議員

問 退職職員の再任用

現在、退職した職員の課長クラスを再雇用しているケースも見受けられるが、いかなる理由・基準のもとで再雇用しているのか。また、その給与体系は何に基づいているのか。これからも再雇用があるとするなら、一定のルールを確立する必要があるのではないか。

答 定年延長の動向を見据えながらルールづくりを検討

町長 ポストの問題や定年制の延長の問題もある。国の動向を見据えながらルールづくりも合わせて検討したい。

総務課長 再任用職員の給与体系については、

町の再任用の基準があり、それにより決定している。

問 放射能の海洋汚染

これから本格的なブリの漁獲期に入るが、万一、放射能に汚染されることがあった場合に大変な打撃をこうむる。

万一の場合どうするのか。また、そのシミュレーションはされているのか。

答 国・県や水産総合センター等と情報を密に的確に対応

農林水産課長 水産経済新聞の情報によれば、ブリなど回遊生物の放射性物質は国の定める暫定規制値を大幅に下回っている。現時点では、特に対策はとっていないが、国・県・水産総合センターとの連携・指導を受けながら的確に対応する。

問 町民大運動会

予算の議決前に運動会の計画が実行に移されているようだが、もし否決された場合はどうするつもりか。この運動会は当初勝ち組に賞金が掛けられていたが、教育委員会の発想にしては倫理観に問題があるのでは。

また、女子プロテニスの勝者には土地を副賞に贈るという事が、新聞・インターネット等にも流れ反響を呼んだ。結果、副賞の土地は返上となったが、町長といえども断で町の土地を贈与出来るといふ法は無いはずだが。

答 指摘の件に反省すべき点はある

町長 指摘の点については、拙速であったことは反省しているが、協力をお願いしたい。

問 執行部の「姿勢」を問う



向峠茂人 議員

交流人口を増やす、若者の定住人口を増やす対応策は。

また、町長の言う町民目線を再確認したい。

答 宿泊券などは検討課題で定住者増加へ補助制度も必要

町長 交流人口増の対応については、来年1月に千葉県流山市と姉妹都市提携し、あばれ祭に市民交流団一行を招く予定。また、当町来町者に宿泊券1枚をプレゼントという提案も検討課題の一つ。若者の定住を増やす対応としては、地元の雇用、景気対策に繋がるならば、支援策として金額は言え

ないが、新規採用の地元業者に対し補助制度を検討する。

また、当初予算で産業振興費として、CAS冷凍も含めて視察・研究の予算措置をしている。第一次産業の振興策として早急に農林水産課、ふるさと振興課、企画財政課の職員に指示したい。

私の言う町民目線とは決して上から下を見下ろすのではなく、常に町民と対等の立場で、同じ目線にある。

問 豪雨対策と地域への周知方法



南正晴 議員

町内の主な河川には水位観測点があるが、どのくらいの雨量で危険水位になるのか。

ハザードマップを公民館単位で作成し、住民への周知を望む。

町長 ハザードマップは、町野川流域の住民には全戸配布されている。他の地域も必要であれば検討する。

答 指定された河川はハザードマップを作成している

建設課長 今年6月、上町川で警戒水位を若干上回ったが、他の河川については若干余裕があった。河川の警戒水位等については、川の幅、延長背後の地形、土地利用形態により違ってくる。ハザードマップについては、水防法の改正により義務付けられた河川については作成している。



長雨で水位の上がった町内の河川

議会活動

町民の皆様に議会活動を少しでもお知らせするため、今号より議会活動の一部を掲載することにしました。
(次号は10月から12月)

〔7月から9月までの主な議会活動〕

- 7月4日 議会議員定数等検討特別委員会
- 7月5日 新任議員研修会
- 7月6日 能登空港利用促進能登町協議会総会
- 7月12日 第3回臨時議会 志賀原発視察
- 7月16日 県議会議員就任祝賀会
- 7月21日 広報編集特別委員会
- 7月27日 議長・副議長・常任委員長研修 町国保運営協議会
- 7月28日 県戦没者追悼式
- 7月29日 宮崎県小林市長来庁
- 7月30日 県消防操法大会
- 8月2日 七尾線利用促進・能登総合開発促進協議会総会
- 8月7日 山田地区戦没者追悼法要
- 8月8日 第11回あいの風海域沿岸首長会議
- 8月9日 能登空港利用促進議員連盟陳情
- 8月10日 町議会議員・監査委員合同研修会
- 8月17日 議会運営委員会 議会議員定数等検討特別委員会
- 8月22日 子ども議会 北方領土早期返還要求石川県民大会
- 8月28日 赤田一男氏叙勲受賞祝賀会
- 8月29日 石川北部RDF広域処理組合議会
- 9月1日 議員全員協議会
- 9月2日 奥能登広域圏議員協議会
- 9月6日 第3回議会定例会 各常任委員会
- 9月12日 第3回議会定例会（一般質問）
- 9月15日 第3回議会定例会
- 9月20日 秋の全国交通安全運動出発式
- 9月28日 産業建設常任委員会管外視察（30日まで）
- 9月29日 奥能登広域圏議会定例会
- 9月4日 各地区敬老会



議案をチェック

問 市濱 等議員

町内で稼働している気象観測点は何ヶ所かで、故障している真脇観測点の対応は。

公共下水道事業の脱水施設についての説明を。また、最終処理はそのように処理しているのか。

答 広報情報推進課長

真脇の観測点については、塩害・老朽化で故障しており、場所等も検討しながら修繕したいと考えている。箇所数は6観測点である。

答 上下水道課長

他施設での脱水・運搬・処理費等にかかる経費と比較すると、小木に新設した方が経費がかからないという結果が出ているので、今回新たに小木地区で新設する予定である。乾燥された汚泥は、「河北潟ゆうきの里」という施設に搬送して堆肥化等して処理されている。

問 宮田 勝三議員

町民大運動会の件で、地区の方々から色々な意見が出ています。小中学校の運動会の大運動会というやり方があっても良いのではないかと。

答 教育長

本来であれば、当初予算で上げるべき事業であったと思っている。学校の運動会を一つにという提案は、学校経営責任者は学校長なので、校長会などを通じて提案するなど検討したい。

問 山岸 昭夫議員

町債の利率はどのような利率か。

答 企画財政課長

予算書では5.5%以内と記述しているが、実際は1%から2%の間で行っている。

問 鍛冶谷 眞一議員

町民大運動会の細かい

点で、大綱引きなどで芝生が痛んだ場合の対応、雨が降って中止になった場合の無駄になった経費はどの程度考えているか。この事業は当初予算で計上し精査すべきであったと考えるが見解を。役場職員は競技役員として挙がっているが、ボランティアとしての参加か代休等対応か。優勝旗とポスター等の経費ももられているがどうするの。

答 教育委員会事務局長

この事業について当初の計画が甘かった点は反省している。

芝生については、運動会後に暗きよ排水工があるため、被害のあった部分について直すことで対応する。大運動会は継続性を持って取り組むべきという意見が多数あり、優勝旗を買うこととしている。ポスターは、事務局手作りで作成する。雨天により結果的に無駄な経費がかかるという指摘もあるが、他に活用できるもの、次回に回せるものなど再度実行委員会等で吟味し、無駄が少なくなるよう努力したい。

天により中止の場合でも経費は、約110万円かかる試算している。

答 総務課長

職員については、地域からの参加ということでボランティアでの参加と考えている。

答 副町長

雨天により結果的に無駄な経費がかかるという指摘もあるが、他に活用できるもの、次回に回せるものなど再度実行委員会等で吟味し、無駄が少なくなるよう努力したい。

問 鶴野 幸一郎議員

自主防災組織育成事業に予算320万円あるが組織単位はどのような単位か。また、公民館費で白丸公民館の屋根修繕があるが、町全体の公平感の観点から、白丸公民館の隣接施設で対応するなどすれば修繕する必要がないのではないかと。自主防災組織の単位に

については、基本的に町内を単位としているが、例えば集会所を2つの町内で運営している地区などはその2つの単位を一つと考えている。

答 教育委員会事務局長

白丸公民館は鉄筋コンクリート造りで耐用年数がまだまだある。雨漏りによる漏電が発生しているということもあり、屋根の修繕を行うことで有効に使用できるという観点から修繕したい。

問 向峠 茂人議員

町太陽光発電補助事業の要綱は、町独自の条文を盛り込んでいるのか。

答 環境対策課長

現在、議会と並行して要綱も作成している。

問 志幸 松栄議員

町防犯対策事業の補助内容の説明を。また、各公民館を統合するという計画はあるのか。

答 総務課長

町内で管理を行っている防犯灯を従来の蛍光灯からLEDに替えるための補助で、増改設する際に、各町内でかかった経費の上限を10万円として90%を役場が負担するもので、地元負担は10%である。

答 町長

公民館の統廃合は、地域に根ざした活動が重要で慎重にならざるを得ない。町としては、公民館活動を活発にしてみらえるような環境づくりが大切と考えている。

問 新平悠紀夫議員

世界農業遺産活用実行委員会負担金が予算に計上されているが、そのプロジェクトなりプランはあるのか。

答 農林水産課長

現在、担当課は農林水産課であるが、ふるさと振興課等と連携して事業を進めていきたい。

総務

委員会

向峠茂人（委員長）

國盛孝昭（副委員長）

椿原安弘・奥成壮三郎

宮田勝三・鍛冶谷眞一

町民に楽しく親しんでもらえるよう普及に役立てたい。

●津波避難に海拔表示

問 海拔表示は何ヶ所。

答 海拔表示板は、主に

保育所・小中学校やバス停、公民館、集会所、憩いの場・体育館・ラプロ

恋路など海岸線の公的施設に50箇所設置予定。

●自主防災育成事業

問 自主防災育成事業の内容は。

答 町内単位あるいは複数の町内単位で防災訓練・備蓄倉庫・避難訓練・消火訓練などに補助し、防災に関するソフト

事業及びハード事業を手がける。近隣市町に比べ

当町は自主防災の組織率が低いので積極的に取組みたい。

●ふれあい公社の株式

問 株式会社化の説明を。

答 来年4月から新会社をスタートさせるために、

株式会社認可を承継する手続きを行う必要がある

り、10月初旬から具体的な事務作業を開始する。

教育民生

委員会

南 正晴（委員長）

市濱 等（副委員長）

金七祐太郎・久田良平

新平悠紀夫・大谷内義一

らの補助は毎年違うがこれにプラスする。

●国民健康保険料

問 保険の未使用または低い人に特典は。

答 検討課題である。表彰を受けるために病院へ行かないケースもある。

●町民大運動会

問 議員の意見で予算は減額されたが、町民の準備、雰囲気は今ひとつのようだが。

答 多くの町民に参加頂けるよう努力する。

●陳情 内浦多目的交流

問 施設の現状と活動実績は。年間必要な経費は。

答 2、3の部屋は陶芸教室が使用。釜の大きさが適当で色づけも可能な施設。トイレは使用不能で、ほとんどがふるさと

振興課の倉庫である。実績は陶芸教室5、6名で、

年132回、合計408人。管理費は水道、衛生

管理等で年間20万円程度は必要と思われる。

●太陽光発電の補助金

問 一戸20万円の補助だが何年間で何戸の目標。

答 1年10件、10年で100戸で計画。工事費は230〜250万円、町独自の補助である。国

産業建設

委員会

酒元法子（委員長）

小路政敏（副委員長）

河田信彰・志幸松栄

山岸昭夫・鶴野幸一郎

9月6日に委員会を開催し、付託された議案6

件を審議、全会一致で可決すべきものとした。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●水産物加工開発センター

問 稼働率は。利用はあ

るのか。

答 広報等で利用PRしているが、利用率はあまり良くない。平成22年度の

利用実績は578人利用している。

●ふるさと雇用再生特別

基金事業

問 堆肥化試験事業の内容は。

答 提案されているのは生糞、漢方の絞りかすを

利用して、堆肥を作るとどうなるか試験する事業である。成分検査などを実施し、今後は、今までの堆肥と比較調査も行うと聞いている。



立壁地内にある農林水産物加工センター

農林水産物加工センター（立壁）には、便利な加工機械が各種設置されています。加工業者はもちろん一般の人でも利用できます。

<<主な機械設備>>

- ・真空包装機・冷風乾燥機・燻製装置
- ・粉砕機・蒸し台など

問い合わせ：TEL 72-8111（要予約）
定休日：月曜日

2011.11 のとちょう議会だより第 26 号 ⑧